

八戸工業高等専門学校

同窓会会報

八戸高専同窓会 第43号

同窓会会報 43号の目次

吉成さんへ感謝状授与 1	学内ニュース 6
会長あいさつ 2	コースからのメッセージ 11
校長あいさつ 3	平成29年度 事務局短信 13
支部会報告 4	
私のお仕事紹介します 5	

吉成さんへ感謝状授与



長年に渡って八戸高専の学生食堂と売店で学生のお腹を満たして下さった吉成さんが引退しました。
長年の功績を讃え感謝状が授与されました。

会長あいさつ



【同窓会会長 舘山 勝 (Z6)】

昨年9月の総会において会長再選となり、2期目を迎えました。昨年の会報では、次の50年に向けての同窓会の課題を挙げさせていただきましたが、2期目は、これらの課題の解決に向けて、着実に同窓会運営を進めていきたいと考えております。以下に、この一年間の同窓会活動について、ご報告させていただきます。

昨年の9月24日に開催された総会において、平成29年度、30年度の事業計画ならびに50周年記念事業案をご承認頂きました。いよいよ来年に迫った同窓会50周年の記念事業を円滑に進めるため、50周年記念事業検討WG（主査：円子副会長）、HP&名簿管理検討WG（主査：大久保副会長）、会則&支部制度検討WG（主査：橋場副会長）の3つのWGを設置することとしました。また、平成31年3月末を任期として同窓会役員が改選されました。なお、今年の5月27日に開催された評議会においては、急逝されました若狭正俊様の後任として、榎本潮様（C27）に副会長に就任して頂くことについても了承されました。

今回の会報の配信に合わせて、新ホームページ（HP）の試行を開始いたしました。これに伴い、HP上からの会費等のクレジット支払いや、

住所変更等の書式ダウンロードも可能となりました。本格運用は次年度からとなりますが、通信費、名簿更新作業の効率化、会費納入率の増加、会員へのリアルタイムな情報発信が図れると考えております。個人情報保護に留意しながらも、有効活用してまいりたいと考えております。なお、HPのリニューアルは50周年記念事業として大久保副会長の尽力により行われたものでありますが、次年度からの本格運用に備えて、多くの方々からご意見、ご要望を頂ければ幸いと考えております。

長い間、同窓会活動に尽力された若狭正俊副会長（C3）が本年2月にご逝去されました。心からご冥福を祈りたいと思います。若狭様には、種々の場面で実に多くの助言を頂きました。「同窓会活動は、誰かが仕掛けるのを待っているのではダメ、個々に主体的に取り組むことが重要である」ということを常々言っておられ、現行支部よりは小さい単位の集まりを集約することが重要であるとの信念から、支部制度の改正に取り組んでおられました。これについても、若狭様の意思を受け継ぎ、取り組んでいきたいと考えております。なお、後任の榎本副会長は、故、榎本善光（C1）元会長のご子息であります。同窓会に新しい風を吹き込んでくれることを期待しております。この他、会員サービスの世代間格差の是正や同窓会会員のUターン支援などにも積極的に取り組みたいと考えております。

来年9月には同窓会50周年式典が予定されております。併せて、同窓会愛称の募集、記念事業を進める上での寄付のお願い等も予定されております。一層のご支援、ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

校長あいさつ

この度、前校長の岡田益男先生が定年でご退職されたあとをうけて、第9代八戸工業高等専門学校長を命ぜられ、本年4月より東北大学から本校に赴任して参りました。よろしくお願い申し上げます。

4月4日に行われた入学式では、中学校を卒業したばかりの新1年生が紹介され、元気に返事をしてくれました。それぞれが、新しい生活に少し不安を抱きながらも、まっすぐ前を向いてキラキラした眼差しを向けていたのが印象的でした。

私は、校長として赴任する以前に、非常勤講師として、本校の教鞭を執っていたことがあります。その時、各学年のクラスの学生一人ひとりを、先生方全員で見守りながら育てているのを実感し、すばらしいと感じました。学生諸君は大勢の先生方に暖かく見守られながら大切に育てられています。そのことが、本校の卒業生が企業や大学で高い評価を受ける理由の一つであると実感しました。

私は、東北大学在任中、研究・教育に加えて大学本部で広報や同窓会関連の業務にも関わっていました。2007年に開催された東北大学創立百周年事業を契機に、東北大学校友会（萩友会）を立ち上げ、東北大学基金にも関わりました。萩友会事務局長として立ち上げた、東北大学ホームカミングデーや各地域の交流会などが卒業生と東北大学を結びつける萩友会の基幹行事となっています。

本校就任直後に地元企業を訪問したとき、八戸高専卒業生を中途採用でも良いから紹介してもらえないだろうか、との要望を多く頂きました。本校卒業生の多くは関東地区などに就職しますが、その後、郷里に戻って再就職する場合もあると聞いています。また、定年やご家族の事情で青森県・岩手県に再就職の道を模索している本校卒業生もいらっしゃるのではないのでしょうか。高専の卒業生



【特別会員・学校長 圓山 重直】
(まるやま しげなお)

で実績のある方を迎えたいと考えている地元企業も多くあります。これらの、ニーズとデマンドは、東北大学の卒業生からも多く聞かれました。

今後、本校卒業生と地元優良企業とのマッチングシステムを構築し、地元に戻る卒業生が、よりよい環境で再就職できるお手伝いをしたいと考えています。そのためには、同窓会の皆様の協力が不可欠です。

平成28年度の本校の人事異動ですが、岡田益男校長、今野恵喜教授、佐藤純准教授、秋田敏宏准教授は平成29年3月31日をもって定年退職等となりました。先生方の本校への永年のご尽力に敬意を表するとともに、深甚の感謝を申し上げます。

また、総合科学教育科に平成28年11月11日付でマイケル・モリス准教授、平成29年4月1日付で中村泰朗助教が赴任されました。今後のご活躍を祈念致しております。

同窓会の皆様には、今後とも本校発展のために一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

支部会報告

関東支部より

【八戸高専同窓会関東支部 戸田 和孝】

同窓生の皆様にはご健勝のことと存じ上げます。さて関東支部では同窓会活動としてサロン会を開催しておりますが、直近の2回の活動内容について以下のようにご報告いたします。

第35回サロン会 2016/11/19 開催

東京・東日本橋の貸会議室にてM科7回生の高橋明博さんに「日本の技術が作った光ディスク」というテーマで講演していただきました。

高橋さんは八戸高専卒業後に住友重機械工業株式会社に入社し、定年まで勤められました。入社直後から集塵装置のプラント設計に携わり、その後にプラスチック機械事業部に転属になり光ディスクの開発に専念されました。同業他社との共同開発で一層磨きかけたSUMI TOMOの光ディスクの名声の世界に広まった理由のひとつには、飛行機会社の特別会員になれるほど、海外を忙しく飛び回った高橋講師の功績があったことや、他社の技術陣には専門分野ではズバ抜けていても、奇人変人が何人もいたこともここだけのお話として特別に話していただきました。また世界的には光ディスクの需要は徐々に減少しているものの、日本国内ではAKB48の人気のおかげで需要は堅調に推移していることも教えていただきました。

第36回サロン会 2017/07/08 開催

東京・八丁堀の貸会議室にてC科11回生の花田康行さんに「卒業して40年、技術官僚としての足跡」というテーマで講演していただきました。

花田さんは八戸高専卒業後に通商産業省（現経済産業省）に入省され、平成28年9月につくば市にあります、産業技術総合研究所勤務を最後に退官されました。霞ヶ関の本省だけでなく、関東圏・東北圏の出先事務所や関連機関・外郭団体での活動実績をお話していただきました。工業標準専門官として



第36回サロン会の様子

東北管内のJISマーク認定の仕事の際には、認定をもらわないことには生コンやU字溝・土管を出荷できない生産者との間での厳しい現場状況のお話には参加者一同言葉を失いました。また、松尾鉦山や尾太鉦山での金銀の含有量調査や鉦廃水分析のお話には参加者からは技術的な質問も飛びました。現在は関東圏の地方銀行にて、地元企業に対して、ものづくり企業支援担当のお仕事も現役でされていることのお話しには参加者一同敬服いたしました。

関東支部では今後もサロン会を技術的な観点のお話を中心として開催予定です。以下のメールアドレスにご連絡いただければ随時、関東支部の活動情况等をメールにてご連絡いたします。

同窓生の皆様のご理解とご協力に感謝しております。

八戸高専同窓会関東支部 戸田和孝 (tod.kaz@r2.dion.ne.jp)

私のお仕事紹介します

「日本で唯一、世界一の誇りを胸に」

八戸製錬(株)八戸製錬所
製錬課 熔錬精製係
C27 榎本 潮

私は今年で創立 50 周年を迎えた八戸製錬に平成 6 年入社、現場作業を経て熔鋳炉等の操業を主体とした現場の工程管理を担当しています。24 時間 365 日操業している工場において、当然の事ながら安全・品質・環境等々様々な管理項目があり、大変ながらも充実した仕事をさせて頂いています。八戸市沿岸部の工業地帯に位置し、煙突から上がる青白い炎が特徴の工場と言えば、知る人ぞ知る八戸夜景の隠れた名所である八戸製錬では、海外鋳やりサイクル原料から熔鋳炉を用いた乾式製錬で 2 種類の亜鉛地金と鉛地金を生産しております。亜鉛という金属は意外と身近な存在で、代表的な用途は「亜鉛メッキ」になります。鋼材の防食防錆を目的として自動車鋼板や建築用鉄骨、橋梁やガードレール等々様々な分野のメッキ材料として活用されています。そのような亜鉛地金を熔鋳炉で生産しているのは八戸製錬が国内で唯一となっており、且つその生産規模と優れた技術力は自他共に認める世界一を誇ります。最近では八戸高専からの採用も増えて 18 名の仲間が各職場で活躍しています。社内では「蒸留の会」という同窓会を組織して新人歓迎会を中心とした活動をしており、今後はさらに活動の幅を広げたいと考えているところです。



好きな和服で家内と
貴重なツーショット

「土地家屋調査士業」

株式会社岩沢測量コンサル
専務取締役
Z24 岩澤 拓郎

私は、平成 17 年に地元の八戸市根城で父が経営している総合建設コンサルタント会社へ入社して 12 年になります。会社の主な業務内容は、地形等の各種測量業、土木設計業、地質調査業、補償コンサルタント業、官公庁への各種許認可手続きを取り扱っており、創立 71 年になります。現在、社員 35 名中 6 名が高専卒業生、そのうち 1 名が女性で、社員全員で協力し合って働いております。

私の主な仕事は、土地家屋調査士という国家資格を利用して、土地や建物の不動産に係る権利を明確にするために、不動産の登記情報や図面等の各種資料調査、T S や G N S S を用いた測量及び現況調査、調査結果と既存資料との照合・検討、土地所有者等の関係者と立会い境界確認を行い、現地に境界標を設置して、測量図等の図面や調査報告書を作成し、法務省の法務局へ表示に関する登記の申請手続きを行っております。お客様の大切な財産を取り扱うので大きな責任を負いますが、とてもやりがいのある仕事です。

今後は、これまでの経験を活かしつつ新たなことにも挑戦し、地域社会発展のために努力していきたいと思っております。



学内ニュース

定年退職教員のご挨拶

【八戸高専校長 岡田益男先生】

～学生・教職員が生き生きする高専を目指して～

平成 23 年の東日本大震災の年に八戸高専に赴任し、学生と教職員の皆様がどうしたら生き生きできるかを、私のテーマとして 6 年間で過ごして参りました。



八戸高専は就職率 100% を掲げ、学生が頑張っている姿に、多くの企業を学生に知ってもらうために、企業内容説明会を開始しました。平成 23 年度の 65 社参加から、平成 28 年度の 113 社の参加と順調に参加企業が増えました。これも卒業した先輩の活躍があつてのことと存じます。更に、全国高専学生 3 年生対象の数学と物理の達成度試験では、本校は優秀な成績を収め、優秀な学生を多くなかで、平成 23 年度の進学率は 34% 程度であり、全国平均より低い状況でした。専攻科生で大学院の進学は 2、3 名に留まっておりました。優秀な学生が何故進学を目指さないのか。そこでキャリア教育を実施し、高専学生は国立大学工学部に希望すればほとんどが入学できる状況などを説明し続けることで、進学率は平成 27 年度に 47% まで増加しました。専攻科についても、東北大学の大学院に高専学生の為の、推薦入学を開始してもらい、平成 28 年度には 16 名が合格、進学率は 54% となりました。これら全て、多くの学生の努力と保護者の皆様、同窓会の皆様のご支援の賜物で、敬意を表したい

と存じます。

平成 25 年度には創立 50 周年を迎え、同窓会の皆様を初め、関係各位から多大なご寄付をいただき、170 名が収容できる 50 周年記念ホールが完成しました。特に、同窓会の皆様のご協力・ご尽力がなければ到底なしえないことで、あらためて感謝申し上げたいと存じます。

八戸高専は平成 27 年度から学科・専攻科を再編すると共に、4 学期制を導入しました。新しい 4 学期制度導入の目的は、学生が将来にわたって学習する基盤を培い、主体的に学ぶ習慣や社会の発展に寄与する志や責任感を身に付けられるような、自主探求学習、国際交流・インターンシップ等の学生参加型（アクティブラーニング型）の教育カリキュラムの充実があります。この自主探求学習は、1 年間を通じ特に秋学期（9～10 月）を主な学期として、学生自らが課題を設定し、調査や実験し、答えを導き出すという教育プログラムです。自主探求学習の課題ですが、ほとんどの学生が自ら探究したいテーマ探しに苦慮していることです。しかし、公開で行われた自主探求発表会では、学生が生き活きと自らの結果を発表し、探究結果は、柔軟で斬新なものが多く、外部審査委員からは高く評価されております。4 学期制、自主探求学習については、全国高専のモデル校としてこれからの展開が期待されます。

最後になりますが、6 年間にわたり学生、教職員、保護者、同窓会の皆様方から公私にわたって頂いたご厚情の数々について感謝申し上げたいと存じます。今後も、51 高専をリードする高専として八戸高専の益々のご発展と皆様のご健康とさらなるご活躍を祈念しまして、退職のご挨拶させていただきます。皆様のご多幸を祈念申し上げます。

【産業システム工学科 環境都市・建築デザインコース 教授 今野恵喜先生】
～定年を迎えて～

大学の恩師に導かれ、「white elephant になるな」との注意も受け八戸高専に赴任し、この3月まで41年間勤めて、定年退職いたしました。

振り返りますと、一番の思い出は、赴任当初から支援を続けていたサッカー部が平成5年と6年に全国準優勝したことでしょうか。それから、寮務主事の時には、寮生の社会性を育み、寮生会活動を支援するとともに、寺子屋と称する先輩から後輩に対する学習支援を推進しました。建設環境工学科長の時には、学生の進路支援のほか、建築士受験資格の変更時に、カリキュラムの再編や建築系教員の採用など、体制整備に対応しました。空間構造デザイン系長としては、グループでのペーパーブリッジの制作を通して、協働のものづくりを推進しました。2010 デザコン企画委員長の時には、全校を挙げた取り組みと全部門への参加を実現することができました。このときの同窓会の皆様からのご支援は忘れられません。改めて御礼申し上げます。また、総合情報センター長の時には、校内ネットワークシステムなどの情報基盤についての環境整備や情報セキュリティ対策の充実に取り組む一方、読書習慣を身につけさせるための行事の充実、ホームページの内容の更新と充実も図りました。さらに、長らく務めた相談室長としては、懇話室での教員と学生との交流と保健室の看護師を窓口としたカウンセラーの面談により学生のメンタルヘルスの支援体制を維持し、要支援学生にチームで支援しました。また、人間関係づくりや思いやりのある



学級づくりに効果が期待されるイベントや相談室の敷居を低くし、相談できる相手の選択肢を広げるために、「話してみよう！1分間」を1年生に実施しました。さらに、低学年には Q-U (Questionnaire-Utilities) 検査を実施し、学級運営や学生個人の支援に活かしました。

授業では、測量やコンクリート構造等の実験実習指導に始まり、地域、都市、交通等の計画分野を担当してきました。1984年に、文部省の内地研究員として東北大学に派遣され、土木計画学研究室の須田 熙（「にすい」が付く）教授のもとで、『過疎地域における交通計画に関する調査研究』に従事以来、公共交通計画の分野を研究の中心に据え、なかでも地方部のバスのあり方やモビリティの確保を中心に研究し、地域の歩行環境、高齢者の交通環境、道路環境・ネットワーク、避難路、公園環境、水辺環境、音環境、人口変動、などの課題にも取り組んできました。さらにまた、恩師の激励を受け、可能な限り参加してまいりました国・県・市の各種審議会等【駐車場整備計画策定、都市計画審議会、地域の生活交通の検討、総合計画推進計画、公共交通再生プラン策定、公園再編プランの検討、駅前広場整備基本計画の検討、地域開発基本計画の検討、都市圏の総合都市交通計画、東北地方交通審議会政策推進部会、等】での活動内容は授業や研究にも活かせたと思っています。

これからも、お役にたてることがありましたら可能な範囲で取り組んでまいりたいと思います。結びに、同窓会のますますのご発展を祈念いたします。

新任教員紹介

【総合科学教育科 准教授 マイケル・モリス 先生】

私の名前は Michael Morris です。2016年11月から常勤の教師として総合科学科に配属されました。以前は、八戸工業高等専門学校で16年間非常勤の教師として勤めていました。常勤の先生になる前に、私は八戸工業大学、東北メディカル学院、太平洋金属八戸、聖ウルスラ学院で英語教師として勤めていました。

高専で働いている私の目標は、生徒が積極的に英語でコミュニケーションができることです。彼らに自信や機会を与え、英語を楽しく学んで欲しいです。最近では、科学コミュニティにとって、英語は不可欠になっています。私は、学生が研究や生活の仕事を続けるために能力を伸ばすことを願っています。

私はカナダから来て24年間、八戸に住んでいます。人生のほぼ半分を過ごした八戸は、私にとって二番目の家であります。休日はサイクリングやアイスホッケー、ゴルフなどのスポーツを楽しんでいます。



【総合科学教育科 助教 中村泰朗先生】

平成29年4月に総合科学教育科・助教として着任しました中村泰朗と申します。昨年度までは広島大学大学院文学研究科・博士課程後期に在籍しておりました。出身は文学部ですが日本の古建築を専門としており、その中でも近世城郭建築や古代から中世の社寺建築を研究対象としています。

城郭建築に関しては、安土城や豊臣大坂城など今は失われた建築について、文献・絵画・考古資料を用いて復元的に考察します。また社寺建築に関しては、これらの特徴づける細部意匠について、その時代的変遷・地方的独自性の解明を試みております。

八戸高専では一般科目として歴史・現代社会を、専門科目として建築系の卒業研究を担当しております。高専は理系の学校ですので文系科目に対して苦手意識をもっている学生も多いようですが、少しでも歴史の面白さ・奥深さを感じ取ってもらえよう、日常の授業の改善を心がけてまいります。

実家が山口県で出身大学が広島県ですので、着任当初はあまりの環境の違いに困惑しておりました。しかし最近は先生方のお力添えをいただきましたおかげで、なんとか仕事や生活にも慣れることができました。社会人経験一年目ということで、まだまだ未熟な点も多いとは思いますが、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



平成 28 年度後半の学内ニュース

本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ 2016 年 第 36 回全国大会（エコラン）

平成 28 年 10 月 1 日（土）～2 日（日）にツインリンクもてぎを会場として行われた第 36 回全国大会において、八戸高専自動車工学部 BG 号がグループⅢ（大学・短大・高専・専門学校生クラス）に出場し、第 4 位となった。高専では全国第 2 位という成績である。



全国高等専門学校

デザインコンペティション 2016 in Kochi

平成 28 年 12 月 17 日（土）～18 日（日）に高知ばさんセンターで行われた全国高専デザインコンペティション 2016 において、八戸高専の「陸奥の琥珀」が構造部門の審査員特別賞を受賞した。



平成 29 年度前半の学内ニュース

第 54 回東北地区高専体育大会八戸大会 卓球部 27 年ぶりの団体優勝

第 54 回東北地区高専体育大会は今年度から各高専において分散開催となった。地元八戸での開催となった卓球競技では本校卓球部が 27 年ぶりに団体優勝した。



卓球部

バレーボール部男子優勝

鶴岡高専で行われたバレーボール競技では、本校バレーボール部（男子）が昨年に続き今年度も優勝した。



男子バレーボール部

バスケットボール部女子優勝

福島高専で行われたバスケットボール競技では、本校バスケットボール部（女子）が優勝した。



女子バスケットボール部

平成 29 年度

秋季青森県高等学校野球選手権大会

秋季青森県高等学校野球選手権大会 兼秋季東北地区高等学校野球大会 予選会において、八戸高専野球部がベスト4となった。準決勝では山田高校に残念ながら敗退。3位決定戦では光星学院に敗退したが、ベスト4という素晴らしい成績を収めることが出来た。



全国高等専門学校

第 28 回プログラミングコンテスト (プロコン)

メインテーマ：「IT志士たち、

よーけ集まるであります。」

本選：10月8日(日)～9日(日)

会場：周南市文化会館(山口県周南市、

主管校 大島商船)

第 14 回 全国高等専門学校デザインコンペティション デザコン 2017 in 清流の国ぎふ

メインテーマ：『デザインが天下を制する』

本選：12月2日(土)～3日(日)

会場：じゅうろくプラザ

(主管校 岐阜高専)

平成 29 年度後半 各種大会日程等

アイデア対決・全国高等専門学校

ロボットコンテスト 2017 (ロボコン)

課題：『大江戸ロボット忍法帳』

東北大会：10月1日(日)

八戸市東体育館

(青森県八戸市、主管校 八戸高専)

全国大会：12月3日(日)

有明コロシアム(東京都・江東区)

本田宗一郎杯 Honda エコマイレージチャレンジ

2017 年 第 37 回全国大会 (エコラン)

9月30日(土)練習走行、10月1日(日)決勝

会場：ツインリンクもてぎ

コースからのメッセージ

機械システムデザインコース

【進路状況】平成 28 年度本科を卒業した 44 名の進路は、就職 28 名、進学 16 名でした。就職者のうち県内就職者数は 9 名 (32%) でした。進学者のうち 9 名は専攻科に進み、あと 2 年間、本校において勉学に励みます。

専攻科の修了生は 9 人でした。5 名が就職、4 名が大学院に進学しました。進学者 4 名全員が東北大大学院に進みました。尚、求人倍率は本科 24.1 倍、専攻科 103.8 倍で、求人状況は良好です。

平成 29 年度は、本科 35 名、専攻科 8 名が卒業・修了予定です。本科は 26 名が就職希望、9 名が進学希望です。専攻科は 4 名の学生が就職希望、4 名が進学希望です。就職に関しては、地元のいいところを知ってもらおうという COC 及び COC+事業の効果が出始めているのか、県内就職を希望する学生が少し増加傾向にあります。

【行事関係】平成 29 年度は東北地区高専体育大会の卓球競技 (7 月 1-2 日、団体優勝) が本校主管で開催されました。また、ラグビー競技は 10 月 20-24 日、ロボコンは 10 月 1 日に本校主管で開催されます (東体育館)。応援よろしくお願い致します。4 年生の工場見学旅行は 10 月 30 日-11 月 2 日、関東地区に出かけます。訪問先の皆様にはお世話になります。訪問先の皆様にはお世話になります。9 月 21 日は校内体育大会です。わが機械工学科 (機械システムデザインコース) は連覇を目指します。

【終わりに】卒業生・修了生の皆様、お近くにお越しの際には本校へお立ち寄り下さい。皆様のご活躍をお知らせ頂けましたら幸いです。最後に、機械システムデザインコースの受験生確保のため、機械システムデザインコースの PR にご協力・ご支援賜りますようお願い申し上げます。

(機械システムデザインコース長代理 赤垣友治)

電気情報工学コース

【進路状況】昨年度は、本科卒業生 38 名中 23 名 (6 割) が就職、15 名 (4 割) が進学でした。なお、求人数は 716 社で、求人倍率は 30 倍を超えました。リーマンショック以降増え続けてきた求人数ですが、一定値に収束しつつあります。専攻科電気コースは修了生 10 名中 1 名が就職、9 名が進学でした。特に本科では東京大学に 1 名、専攻科では東北大学大学院に 7 名が進学しました。

今年度は、本科卒業予定者 35 名で、現在、就職希望者が 17 名 (5 割) で、順調に就職活動を進めております。一方、進学希望は 18 名 (5 割) で、そのうち 6 名が専攻科に推薦合格しました。専攻科電気コース修了予定者は 6 名で、就職希望が 3 名、進学希望が 3 名です。

【学生の活躍】プロコン競技部門ですが、昨年度も決勝まで勝ち進むという活躍を見せてくれました。今年度の NHK ロボットコンテスト東北大会ですが、10 月 1 日に地元八戸で開催されます。応援よろしくお願いいたします。

専攻科電気コースでは、各種学会・シンポジウムで 2 名の学生が様々な賞を受賞しました。また、特別研究発表会では最優秀賞を受賞しました。

【教員の移動】今年 4 月に鎌田貴晴先生が内地留学先の岩手大学から戻られました。人事交流により 2 年間ご活躍いただいた本校 OB の秋田敏宏先生ですが、この 4 月に一関高専へ戻られました。工藤隆男先生が嘱託教授としてご活躍中です。

【最後に】卒業生・修了生の皆様方には、多方面に渡りご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。こちらにお越しの際はぜひお立ち寄りいただき、近況をお知らせいただくとありがたいです。楽しみにしております。

(電気情報工学コース長 釜谷博行)

マテリアル・バイオ工学コース

【進路状況】 昨年度の物質工学科卒業生は 38 名（男 18 女 20）で、就職 18 名（男 8 女 10）、進学 19 名（男 9 女 10）、その他 1 名でした。専攻科修了生は 12 名（男 4 女 8）で、就職 5 名（男 2 女 3）、進学 7 名（男 2 女 7）でした。専攻科修了生の進学先は、東北大学大学院 3 名、東京大学大学院、東京工業大学大学院、北海道大学大学院および宇都宮大学大学院にそれぞれ 1 名です。

今年度の本科 5 年生は 44 名（男 15 女 29）で、就職希望 25 名（男 8 女 17）、進学希望 19 名（男 7 女 12）です。専攻科 2 年生は 10 名（男 6 女 4）で就職希望 4 名（男 3 女 1）、進学希望 6 名（男 3 女 3）です。

【見学旅行】 昨年度の 4 年生の見学旅行は、11 月 1 日（火）～4 日（金）の期間で、JX エネルギー（株）仙台製油所、JX エネルギー中央技術研究所、東京工業大学大学院生命理工学研究科、三菱みなとみらい技術館、キリンビール（株）横浜工場、大日精化工業（株）東京事業所を見学させていただきました。それぞれの訪問先では高専OBの方々にも説明に加わっていただき、学生にとって充実した見学となりました。ご協力、有難うございました。

【主催イベント】 中学生向けの「化学の学校」は、実施時期を夏休みに変更し、8 月 7 日（月）～8 日（火）に開催し、中学 1～3 年生 70 名が様々な実験（11 テーマ）を行い、化学の面白さを実感してもらいました。

【最後に】 マテリアル・バイオ工学コースは、改組後 3 年目を迎えております。いよいよ改組後の新しい専門科目の講義も始まり、ますます充実した教育内容となっております。今後とも、卒業生の皆様のご支援ご鞭撻をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

（マテリアル・バイオ工学コース長
長谷川章）

環境都市・建築デザインコース

【進路状況】 この 3 月に建設環境工学科を卒業した 37 名の内、27 名が就職、10 名が進学しました。就職の内訳は、7 名が公務員であり、国土交通省、八戸市、青森県に勤めています。また、鉄道、電力、通信、ガス、水道、マリコン等、17 名が民間企業等に就職しました。進学者は本校専攻科へ 2 名、他大学等が 8 名であり、近年では進学者、特に専攻科進学者が少なかったと思います。専攻科修了生は、東北大学大学院進学が 2 名、公務員採用が 4 名（国土交通省、八戸市等）、民間企業採用が 2 名（JR、ゼネコン）です。

今年度の卒業予定者は 40 名で、就職希望が 25 名、進学希望が 15 名となっております。就職希望の 25 名の内、17 名が民間企業を、8 名が公務員を志望しています。今年は、進学志望者が若干増加しました。公務員志望者は昨年度とほぼ同様です。専攻科生は、大学院進学希望 2 名、公務員希望 2 名、民間企業希望 3 名です。学生は進学・就職に向け準備に励んでいます。

【今野先生の定年退職】 昭和 51 年から 41 年間にわたり勤務された今野恵喜先生がこの 3 月に定年を迎えられました。現在は、嘱託教授としてご定年前と同様に授業をご担当していただいております。

【最後に】 卒業生・修了生の皆様には、いつもご支援・ご協力をいただきまして感謝申し上げます。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りいただき、近況等お知らせください。

（環境都市・建築デザインコース長 藤原広和）

平成 29 年度 事務局短信

★新ホームページ（HP）について

新ホームページ（HP）の試行を開始いたします。これに伴い、HP上からの会費等のクレジット支払いや、住所変更等の書式ダウンロードも可能となります。当分の間、従来の郵送による会費納入のお願い、住所調査も併用いたします。

★10年会費（7000円）納入のお願い

同窓会名簿のデータベース管理ソフトの更新を平成27から2年間かけて行っておりました。そのため、今年度は平成27年から3期分の方に会費納入をお願いすることになります。具体的には、

- 平成7年3月卒業（MEC-28回生，Z-23回生）および平成17年3月卒業（MEC-38回生，Z-33回生）の方
- 平成8年3月卒業（MEC-29回生，Z-24回生）および平成18年3月卒業（MEC-39回生，Z-34回生）の方
- 平成9年3月卒業（MEC-30回生，Z-25回生）および平成17年3月卒業（MEC-40回生，Z-35回生）の方

が10年会費納入期にあたります。請求書が同封されておりますので、会費納入をお願いいたします。また、それ以外の同窓生で未納の方も会費納入をお願いいたします。

（注）封筒に添付されている宛名シールに星印がありますが、星印の数が10年会費納入までの残りの年数を示しています。従って、星印の無い方が会費を納入する必要があります。

★住所調査葉書

同窓会名簿データ更新のため、住所や職場の変更のあった方は同封の葉書にて同窓会宛に返送してください。また、同窓会では経費削減のため会報発行、事務連絡を電子メールで実施することを検討しています。この機会にE-mailアドレスの記入をお願いいたします。

なお、同窓会名簿で非公開としたい情報は、はがきのチェック欄にレ印を記入ください。ただし、同窓会の会員データとして情報が必要ですので住所等は必ず記載してください。

暫くの間、同窓会から郵便物が届かない方は、新ホームページ（HP）から住所記載の書式をダウンロードし同窓会まで郵送により連絡してください。

★会員名簿（平成 29 年度版）の注文方法のお知らせ

名簿を平成 29 年 12 月に作成する予定です。名簿の購入を希望される方は、同封の住所調査葉書に名簿注文欄がありますので、○印を付けて返送してください。DVD 化を検討しておりますが、これまで通り冊子の場合、値段は実費（送料込 1,500 円：DVD の場合、より安価になる予定）ですので、名簿到着後、名簿に同封されている振込用紙にてご送金ください。送金をお忘れにならないようご注意ください。

★平成 28 年度の事業報告

平成 28 年度は以下の事業を行いました。

年度	月	項 目
28	4/3	事務局打ち合わせ会議開催（メール会議）（八戸）
	4/17（日）	正副会長、事務局打ち合わせ会議開催（八戸）
	5/29（日）	評議会開催（八戸プラザホテル）16:00～評議会、18:00～懇親会
	6/下旬	会報第 41 号 WEB 発行および住所調査実施(注 1)
	9/24(土)	15:00～ 理事会・評議会 17:00～ 総会（八戸）、18:00～ 懇親会
	11/19（土）	16:00～ 理事会 18:00～&学校関係者との懇談会
	3/16（木）	新入会員（第 49 期生）入会式実施（卒業式）

(注 1)会員住所のデータベース更新のため住所調査は行っていない

★同窓会会報等の送付先について

同窓会からの会報などの送付先を、勤務先にしたい方は住所調査葉書に記載欄を設けておりますのでご利用ください。

★クラス会活動補助金について

同窓会では、クラス会活動の活性化を目的に「クラス会活動補助金」が予算化されております。1 クラスあたり 10,000 円で、先着 10 クラスまでとし、連絡先を明記したクラス名簿およびクラス会報告（写真などを含む）が義務付けられます。

★その他

同窓会は個人情報保護法の規制団体ではありませんが、連絡いただいた情報の管理は厳格に行っております。また、住所等の情報について特別な事情がある場合には同窓会事務局まで連絡してください。